議員団控室　住所：中野区中野4-8-1　電話：3228-8873　FAX：3389-8657　自宅：中野区鷺宮5-14-4みのる荘201
はばたき通信　第21号　発行日：2018年5月10日

日本共産党中野区議会議員
あなたの声を、区政に活かす
羽鳥だいすけの区政報告
2018年5月号
No. 21

はばたき通信

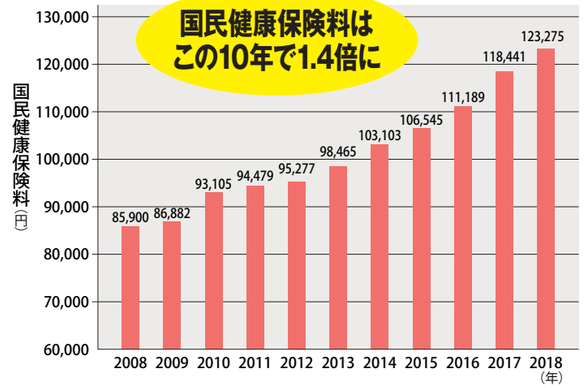
●メールアドレス
hatoridaisuke89@yahoo.co.jp
●自宅
TEL/FAX：03-6677-7404
●区議団控室
TEL：03-3228-8873
FAX：03-3389-8657
●ホームページ
羽鳥だいすけ　WEB検索
ツイッター、フェイスブックもやっています！

区民の暮らしに寄り添う予算に！

3月末まで行われた第1回定例会では、2018年度の予算案の審議などが行われました。審議の中で、これまでと同じように、中野駅前の大規模開発には多額の支出をする一方で、区民には負担増を押し付けるなどの予算案の問題点が明らかになりました。

高過ぎる保険料を見直せ！命と健康を守る制度に

国民健康保険料は今年度も値上げされ、16年連続値上げとなります。区は「持続可能な制度のため」と言いますが、制度のために生活が苦しめられては本末転倒です。公費負担の拡充で、“払える保険料”にすることが必要です。

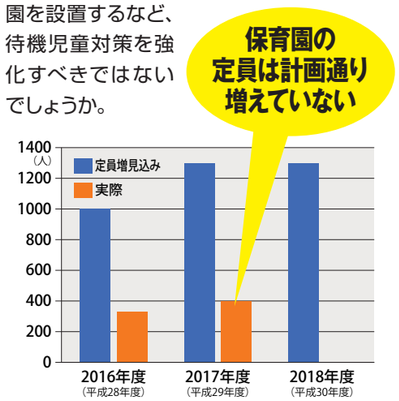


出典：「議会資料および介護保険の運営状況」より作成

子育てに公の責任を！

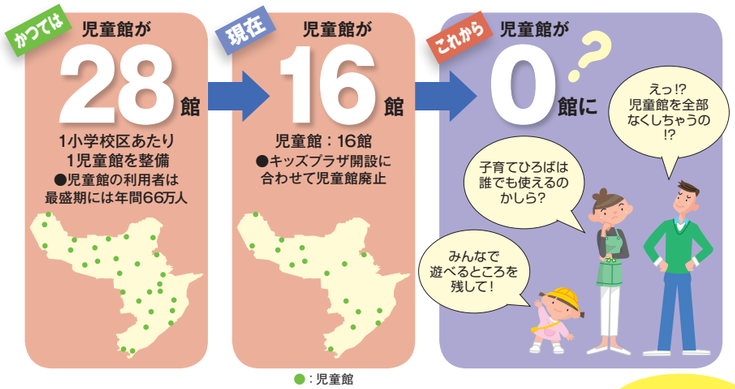
・区立認可保育園の設置を

この2年間、区は年間1000人規模の保育定員増を見込み予算をつけてきましたが、その目標を連続で大幅に下回る事態となっています。「区立保育園はすべて民営化する」「新設は民間誘致のみで行う」という方針を見直し、中野区が自ら区立認可保育園を設置するなど、待機児童対策を強化すべきではないでしょうか。



・児童館廃止方針を見直せ

区は今のところ、児童館を全廃する方針を改めていません。「学校敷地に設置する民営のキッズプラザがあればよい」という態度ですが、昼間ならいつでも立ち寄れる施設と子どもを見守る区の職員の存在が大事ではないでしょうか。



6月に区長選挙・区議補欠選挙が行われます

告示：6月3日（日）／投票：6月10日（日）／開票：6月11日（月）

民泊

「住んでよし」「訪れてよし」を実現するために必要な規制を

今年6月施行の民泊新法に対応して、区は民泊の独自規制条例を提出しました。共産党区議団は、住宅街で民泊が野放しとなってしまえば地域に大きな影響が及ぶことから、施設基準や人員配置などの規制緩和は行わず、旅館業法並みの規制を求めてきました。

地域ではすでに、防犯やゴミ投棄など公衆衛生の点から心配の声も上がっています。今回の条例案では家主不在型の民泊も届出制で認められることになり、民泊への安易な参入による問題発生の懸念が拭えないことから、党区議団は条例案に反対しました。

中野区役所の民泊担当部署は？

中野区では保健所が所管になります
中野区保健所
03-3382-6661

“中野区　民泊”で検索すると様々な物件があることが分かる

学校給食の無償化を求める意見書を提出しました

第1回定例会において、党区議団は「学校給食の無償化を求める意見書（案）」を提出しました。学校教育に関わる保護者負担のうち給食費の占める割合は、小学校で約42%、中学校で約23%にもなります。 この間、小学校や中学校で提供される学校給食を無償にする自治体が増えています。「給食は食育」という位置付けからすれば、「義務教育はこれを無償とする」とした憲法第26条の精神に立ち、無償とすべきです。

意見書は立憲民主議員団や多くの無所属議員が賛成しましたが、否決されました。

●意見書に対する各会派の賛否

賛成	共産党、立憲民主
反対	自民党、公明党、都民ファースト

2018年第1回定例会日誌

①**2月20日/本会議**　長沢議員が質問。給食費無償化を求めたが、区は「無償化することは考えていない」と答弁

②**2月21日/本会議**　小杉議員が質問。介護保険の第7期事業計画で積立を活用し保険料を引き下げるよう求めるも、「その考えはない」と区は答弁。

③**2月28日/予算特別委員会**　来住議員が質問。同性パートナー公認制度の実施を求めたところ、「早期に実現をしたい」と大きく前進する答弁。

④**3月14日/厚生委員会**　すこやか福祉センターを現在の区内4か所から、8か所に設置する方針が示される。きめ細かな福祉支援実施のため党区議団も求めてきた。

⑤**3月14日/子ども文教委員会**　区立幼稚園での2年保育の募集継続がされることに。陳情採択などの運動の成果が実る。

⑥**3月28日/本会議**　哲学堂公園の児童遊園を守ることを求める陳情が採決される。党区議団は賛成したが、自民・公明・立憲・都ファなどの反対で不採択に。

石巻ボランティアに行ってきました

共産党区議団は昨年12月に石巻への震災ボランティアとして、物資支援を行ってまいりました。災害公営住宅での支援は初めてでしたが、多くの方にお越しいただきました。ご支援くださった方、ありがとうございました。

相談・ご意見お待ちしております

生活のこと、地域のこと、なんでもご相談ください
「はばたき通信」へのご意見お待ちしています。

議員団控室／電話：3228-8873
FAX：3389-8657
携帯電話：090-4607-7889

羽鳥だいすけの日々雑感

道徳の教科化を考える

今年から「特別の教科　道徳」が正規教科になりました。これからは通知表で「道徳心が身についているか」が評価の対象になります。先日、小学１年生向けの教材「かぼちゃのつる」を使っての模擬授業を受けてきました。この授業では「わがまましないで生活する態度を養う」ことを目指します。中身をぜひ読んでいただきたいですが、私は“価値観の統一”を図る政府の不気味な意図を感じました。

★このコラムでは、地域のこと、私のことなど、雑多な中身をご紹介していきたいと思っています。

共産党は2018年度予算案に対して組み替え動議を提出しました

基金［679億円］のわずか4%で実現できます

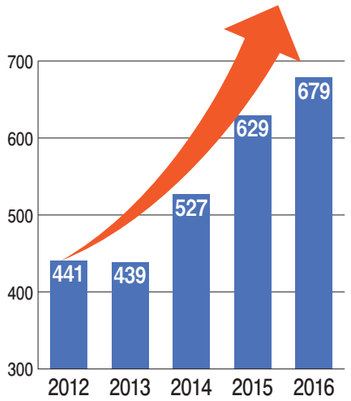
区長が提出した予算案が区民の暮らしの大変さに応えていない下で、日本共産党は独自に区民の生活を守る提案を行いました。中野区に679億円もある基金のわずか4%ほど組み替えるだけで下に紹介する施策は実現できます。

(1) 大型開発の見直しで支出削減

- **中野駅前再開発―約-16億円**
- **平和の森公園と哲学堂公園の再整備―約-40億円**

まずは不要不急の大型開発を見直します。サンプラザと区役所を壊して作る200メートルの超高層ビルと1万人アリーナを始め、中野駅周辺で目白押しの事業は、今後を見すえ冷静に見直す必要があります。

また、二つの公園の再整備は公園の目的にも反し、住民の声にも耳を傾けることなく行われているもので、見直すべきです。



(2) 国民健康保険料の1人1万円引き下げ

- **被保険者86400人×1万円―約8億6000万円**

国民健康保険料は国庫負担が年々引き下げられ、社会保険と比べても負担がかなり大きくなっています。また国保料は1人あたりにかかるため、子どもが多いほど負担が大きいという側面もあります。均等割を引き下げ、多子世帯や低所得者に特に配慮します。

(3) 学校給食費の無償化

- **食材費を公費負担で実施する―約5億3000万円**

給食の食材費は、学校教育費の保護者負担の大きな割合を占めています。現在、中野区では保護者負担とされていますが、実は全国では無償化が広がっています。「給食は食育」という立場から、中野区でも無償化をするよう求めました。

(4) 区立認可保育園の設置

- **1園あたり3億円×3か所分―約9億円**

民間園では建物ができても保育士が確保できないという事態も起きている中、北区や江戸川区では区職員として保育士を募集し、たくさんの応募がありました。民間誘致による認可保育園設置が行きづまっている中で、待機児童解消にも中野区の積極的な役割発揮が必要です。

(5) 不妊治療助成の実施を

- **自己負担の額を抑える―約2200万円**

不妊に悩む方の思いは深刻です。1回の不妊治療では成功しないこともあり、お金の負担も大きなものになっています。1回あたりの費用を補助する提案です。

(6) 万全の震災対策を

- **木造住宅耐震助成の実施―1件あたり200万円まで×年間100件　約2億円**
- **感震ブレーカーの設置助成―1個あたり3千円×年間2千個　約600万円**

地震で倒れない住宅にすること、火災が発生しないようにすることで、地震の死傷者を大幅に減らすことができるとともに、震災後の費用負担も軽くすることができます。中野区に事前防災の考えを取り入れましょう。

(7) 子育て世帯と若者への家賃助成で安心して暮らせる住まいを

- **月2万円を上限に130世帯に向けて実施―約3100万円**

高過ぎる家賃が区民の暮らしを圧迫しています。海外と比べても公営住宅が少ない日本は、必然的に家賃の高い住居に住まざるをえません。「住まいは権利」を実現するため新宿区など他の自治体で行われている家賃助成を実施します。

総括質疑ハイライト

本会議での一般質問に立つ羽鳥区議

2月27日、予算委員会での総括質疑に立ちました。
今回は、①2018年度（平成30年度）予算、②学校図書館等、③西武新宿線野方以西連続立体交差事業、④国民健康保険、⑤地球温暖化対策、⑥防災の取り組み、などについて取り上げました。

野方―井荻駅間の立体交差化は地下化で

踏切が残っては事業の正当性疑われる

東京都が昨年3月に発表した「調査報告書」（詳報は前号）では、野方駅以西の踏切が地下化でも高架化でも残ることを追及し、区に対応を求めました。

羽鳥　調査報告書で示されている3案ではいずれも野方駅を地上に残して、野方1号踏切を越えてからの勾配となっています。そして野方3，4号踏切は高架化の場合では車が通行する高さを確保できない恐れがあり、地下化の場合では交差部がなくなる恐れもある。

区　鉄道による分断を解消する踏切除却、これはまちづくりの生命線というふうに考えている。

羽鳥　（事業は）踏切渋滞解消のために行うわけですから、踏切が残ってしまっては事業の正当性すら疑われることになってしまう。都に対し、踏切を解消できる案を検討するよう求めるべきでは。

区　東京都と意見交換をしていく。

羽鳥　意見交換ではなく、ぜひ求めていっていただきたい。

区は都に対して地下化求めよ

西武線の立体交差化を地下化でやることについても区は及び腰です。また、住民の意見を聞いて事業を進めていく姿勢も全くありません。質疑の中でこの点を質し、対応を求めました。

羽鳥　中野区は地下化を掲げた方針を今は言わなくなってしまっています。構造形式について住民の意向調査をすべきでは。

区　設計は都が行うもので、現時点でその考えはない。

羽鳥　自ら地下化を掲げて団体を立ち上げながら、事実上撤回し、今度は都の事業という。こういうのを行政都合で振り回すと言う。改めて地下化で実現するよう求める。

踏切渋滞解消を求める決起大会の様子

都が作成した調査報告書

区民から寄せられた声　中野区政アンケートへのご協力ありがとうございました

昨年10月から、今年2月で取り組んだ「2017中野区政アンケート」には1556人の方からご協力いただき、ありがとうございました。今後の議会論戦などに活かしてきます。寄せられた声の一部を紹介します。

- 食費1日1000円以下で済まさないと保険料が払えない
- 年金のみでは食べていけず、貯金を切り崩しています
- 子どもを今こそ少人数で教育してほしい。先生の負担も減らせる
- 鷺宮から中野駅に行くのが大変。小さめのバスを走らせて
- 歩きたばこ禁止やポイ捨て禁止条例を作って